

指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

	施設所管課	福祉子ども部子ども家庭課
施設名	母と子の家しらゆり	
指定管理者	社会福祉法人湘南学園	
指定期間	平成26年4月1日 ～ 平成31年3月31日	
指定管理料	年額45,589,350円(平成30年度)	(総額222,235,000円)
設置目的	母子生活支援施設の運営	
業務内容	母子家庭の母と子を保護すると共に、自立の促進のためにその生活や就労を支援し、退所後も相談や援助を行い、子育ての支援をする。	

主な成果 <small>(自主事業含む)</small>	使用料収入	目標	円	⇒	実績	円
	稼働率	目標	%	⇒	実績	%
	利用者数	目標	人	⇒	実績	人
	【主な自主事業実施による成果】 フードバンクからの食品寄贈品の配布を通じて、退所世帯の支援ができた。					

総合評価	B (良好)	平成30年度は入所世帯がこれまでに比べ多めであった。世帯の支援も困難化してきている中、職員同士の連携、研鑽に努められ、必要に応じて市や他の機関とも連携し、丁寧に対応されている。よりよい運営のため、環境改善などの工夫もされており、今後も、これまでの経験を生かし、職員の安定雇用と充実した支援に努めていただきたい。
------	-----------	---

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項	
I 実施体制	施設の設置目的の達成 <input type="checkbox"/> 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	設置目的を理解し、目的に沿った管理運営を行っている。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 <input type="checkbox"/> 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 <input type="checkbox"/> 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 <input type="checkbox"/> 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 <input type="checkbox"/> 障害者の雇用促進に努めていたか。	事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	専門職等の雇用が難しい中、職員体制の確保に努められた
	職員の研修 <input type="checkbox"/> 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	事業計画書、事業報告書、研修資料等	B (良好)	研修の成果として法人内の実践発表会で初の評価を得た。	B (良好)	外部講師を招いての研修に加え、施設内だけでなく、法人全体としても研修や発表を行い、研鑽している
	法令等遵守 <input type="checkbox"/> 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係書類等、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	適正に遵守されている
	個人情報保護・情報公開 <input type="checkbox"/> 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	協定書、管理方法（実地調査）	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	個人情報の適正な管理に努めている
	管理記録 <input type="checkbox"/> 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 <input type="checkbox"/> 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	記録の見直しをするなど改善されている
	連絡体制 <input type="checkbox"/> 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 <input type="checkbox"/> 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	事業計画書、事業報告書等関係書類	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	十分に連携連絡を行っている。報告書等も適正に提出されている
	緊急時対応 <input type="checkbox"/> 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 <input type="checkbox"/> 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	マニュアルを整備し、毎月避難訓練を行っている
	【I総括】 業務の実施体制に関する評価【標準8項目/当施設 項目】		B (良好)			

指定管理導入施設実績評価シート（平成30年度）

評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課確認事項	
Ⅱ 内容・水準	施設管理 □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	事業計画書、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	防犯カメラ、夜間警備体制を整えている
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	月平均世帯数は13.3世帯(充足率95%)、前年度11.4世帯(充足率81%)	B (良好)	入所世帯が多い年度となった。適正な基準である。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の対応は迅速かつ適切に行っていたか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の扱いは適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	入所母子が自立できるよう、それぞれに計画をたて適正に自立支援を行っている
	事業運営 □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 自主事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか。	事業計画書、事業報告書、自主事業計画書、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	事業計画書に基づき、入所者向けに事業を実施している
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	修繕が必要な箇所について適正に対応している。気づいた点は報告を受けている
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページの管理は適切に行っていたか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B (良好)	基準を満たしている(※しりゆり独自のホームページはないが、法人ホームページを活用している)	B (良好)	法人のホームページで情報を提供している
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	職員は環境、リサイクルの意識を持って推進に努めている
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	日々の支援の中でも丁寧な相談にのり、要望や苦情の把握に努め、組織として問題解決に努力されている
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、事業報告書	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	個別相談の中でもニーズ把握に努めている
	【Ⅱ総括】 業務の内容・水準に関する評価【標準9項目/当施設 項目】			B (良好)		
Ⅲ 収支等	経理事務 □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	適切に処理されている
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入-支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	適正に執行されている
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の再委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、委託契約書	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	経費削減の意識は高く、再委託の内容も適切である
【Ⅲ総括】 経費の収支等に関する評価【標準3項目/当施設 項目】			B (良好)			
Ⅳ その他	その他 □ 入所者に対する各種事業の取り組みを行ったか。	事業報告書	B (良好)	基準を満たしている	B (良好)	入所者によるこぼれる事業を実施している。
	【Ⅳ総括】 その他に関する評価【当施設 項目】			B (良好)		

特記事項等 (課題・成果)	<p>【指定管理者】 平成30年度は、入居世帯数において延べ160世帯と前年度比で23世帯増、入所人数は、368人と前年度比27人増となりました。この間、3世帯が退所、入所は、4月、6月、2月に、各1世帯あり、年度末入所者数は13世帯(母13人/子17人)となりました。ひと月の平均世帯数は13.3で、認可定員に対する充足率は95%で、前年度(11.4世帯/月、充足率81%)と比べて大きく伸びましたが、大きな混乱もなく安定した穏やかな一年でした。運営面では、職場環境の変化として、施設内保育ロースを事務所横に移動、空いた部屋を心理的ケアの行えるカウンセリングルームとしました。少人数のスタッフでまじりゆりにとつて、この環境面での整理は、連携をスムーズにし、母子支援のあり方を見直すきっかけとなりました。背景的には、隔月開催の外部講師による勉強会で、前年度から力点を置き取り組んできた、総合的見地からのアプローチが実を結んできたとみています。年度末の湘南実践発表会では「チームアプローチの再確認」としてまとめ、発表できたのも成果です。なお2度目の指定管理受託5年を終えました。平成31年度から引き続き3年の受託となります。この続きは次回で更に展開します。</p> <p>【施設所管課】 母子生活支援施設としての特性を理解し、法人として安定した運営に努めている。職員の安定雇用に苦慮しながらも、積極的な研修、研鑽に努められ、職員間の連携もスムーズで、困難な支援についても丁寧に対応している。入所者については、入所から退所後のケアまで幅広い内容のサポートが必要であり、今後も市や関係機関とも、必要に応じて連携、協力を深めながら支援に努めていきたい。</p>
--------------------------	--